

クラス番号	641	担当教員名	斉藤 雅茂
テーマ	高齢者の社会的孤立（孤立死・孤独死）と社会福祉調査		
著書・論文 研究課題等	主な雑誌論文： ・ Social exclusion and mortality among older Japanese: AGES cohort study. <i>Social Science and Medicine</i>, 75(5): 940-945. (2012) ・ 高齢者の社会的孤立に関する主要な知見と今後の課題. 『季刊家計経済研究』 94: 55-61. (2012) ・ 同居者のいる住民基本台帳上の一人世帯高齢者の特性. 『老年社会科学』 33(4): 527-537. (2012) ・ 介護保険料段階による在宅介護サービス費用の経年変化. 『季刊社会保障研究』 47(3): 293-303. (2011). ・ 孤立高齢者におけるソーシャルサポートの利用可能性と心理的健康. 『日本公衆衛生雑誌』 58(6):446-456. (2011) ・ 首都圏ベッドタウンにおける世帯構成別にみた孤立高齢者の発現率と特徴. 『日本公衆衛生雑誌』 57(9):785-795. (2010) ・ 大都市高齢者の社会的孤立と一人暮らしに至る経緯との関連. 『老年社会科学』 32(4): 470-480. (2010) ・ 小地域ネットワーク活動支援データ管理ソフトの開発と設計思想. 『日本福祉大学社会福祉論集』 123:85-95. (2010)		
ゼミナール概要			
キーワード： 高齢者福祉 / 貧困・社会的排除 / 実証研究 / 社会老年学			
目的、内容、方法等： 急激な高齢化とあわせて、一人暮らし高齢者や生涯未婚者の急増といった背景のなかで、高齢者の社会的孤立や孤立死・孤独死に関連する報道を目にする機会が少なくないと思います。本演習では、高齢者の社会的孤立という問題を扱いながら、各自の卒業論文制作にむけて、①文章を正確に読めるようになる（読む力）、②資料を自分で探せるようになる（探す力）、③調べたことを人に伝えられるようになる（伝える力）、④他人の意見を聞き、議論できるようになる（聞く力）、⑤論文の書き方を習得する（書く力）、⑥社会福祉実践で用いられる調査方法を使えるようになる（調べる力）という6点を目標にしています。 本演習では、一部パソコンを使った演習も行いますが、基本的には関連文献について、輪読を重ねて、各自の関心テーマの焦点化を図ります。また、卒業論文に関連したレポートを年間で3回は提出してもらい、すべて添削および反省会を行います。休暇期間を利用したフィールドワーク・合宿については未定です。			
授業計画： － 3年前期には、上記テーマに関連した専門書を輪読します。学生からの報告を踏まえてグループ・ディスカッションを行います。また、発表に対して、資料の作り方やプレゼンテーションの仕方についても評価しあう予定です。その後、資料の探し方を演習し、各自の関心に即した論文を集めて輪読をし、レポートおよび卒業研究計画書にまとめていきます。 － 3年後期には、卒業論文で取り組む課題を焦点化し、各自、研究計画書を作成します。そのために、各自の関心に即した論文レビューをしていきます。また、卒業論文のテーマによっては、既存の調査データの探索・利用申請や、調査実施の準備を行います。 － 4年次には卒業論文の執筆に取り組みます。ゼミでは、進捗状況を中心に報告し合い、お互いに議論を重ねていきます。国家試験の準備期間を考慮して、夏休みまでに卒業論文の完成を目指します。また、卒論完成後、国家試験を受けない学生には、統計解析や地理情報システムの利用方法などの演習を行う予定です。			
担当教員からのメッセージ			
	大学生活も後半になり、国家試験の勉強や就職活動の準備などで忙しくなってくるかと思いますが、当面の課題を器用にこなすだけでなく、ぜひ様々なことにチャレンジして見聞を広めて頂ければと思います。 ゼミでは、自ら積極的に参加し、自ら学習を深めることが要求されます。4年間の集大成として、皆さん自身がより深めたいテーマを言語化し、自らの力で問題の答えを探求できるように、また、その成果を発表できるようにお手伝いしたいと思います。一緒に実りの多いゼミにしましょう。		